

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立島根小学校）

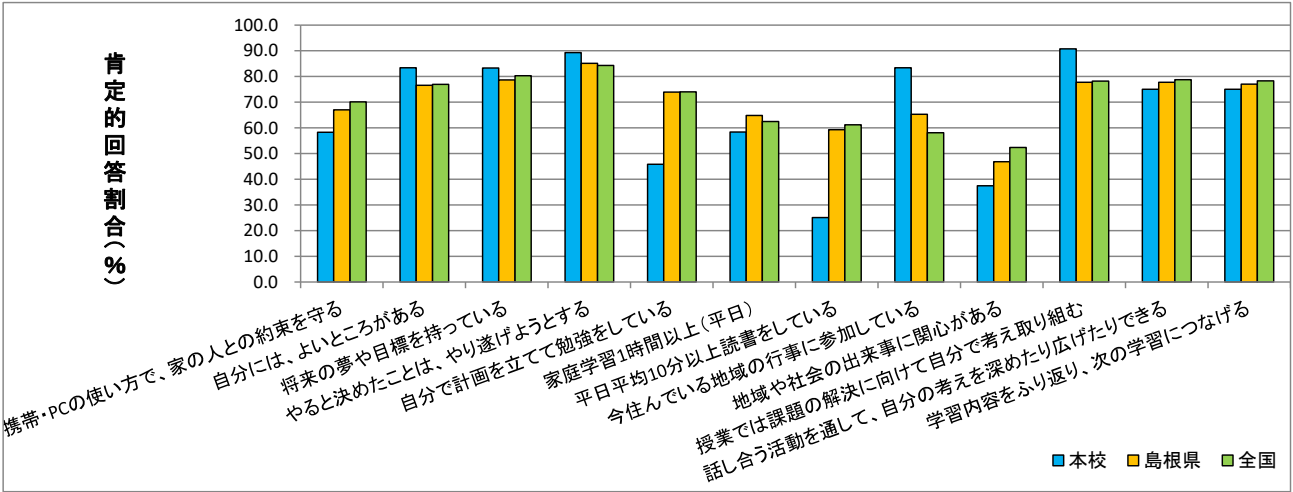
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
国語	○漢字、言葉や文法などを文の中で正しく使うことができている。 ○目的に応じて文章の図表を結び付けて必要な情報を読み取ることができている。 ●文章を要約することが苦手である。 ●目的や話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考えたり、伝えたいことを明確にして文章を考えたりすることが苦手である。	・短い文章や新聞記事などを読んで要点をまとめる活動を学習の中に取り入れる。 ・朝のスピーチなど人前で話す経験を積み重ねながら、自分が伝えたいことを明確にして話すように意識付けを行う。
算数	○全体的に基礎基本となる内容は身につけている。 ●式の意味など思考力を必要とする問題に課題が見られる。 ●図形問題に弱さが見られる。	・文章問題など思考力が必要な問題に取り組む機会を作る。 ・低学年の時から操作活動を充実させていく。また幼保との連携も図り、幼少期からも遊びを通して積み木など図形の実物に触れていく経験を多く積ませることもしていきたい。

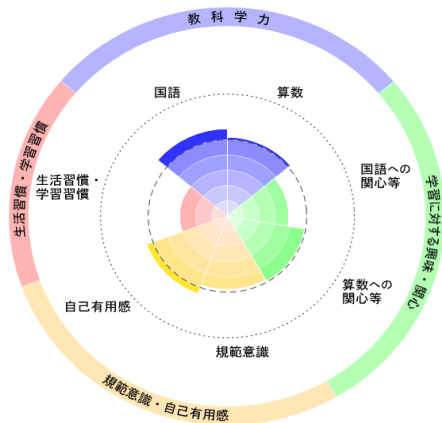
(2) 生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
	○友達の話最後まで聞くことができている。 ○算数への学習意欲が国語に比べて高い。 ●違う意見について話し合うことは楽しいことではないと思っている児童が多い。 ●家庭での規則正しい生活ができていない児童が多い。	・授業の中で自分の考えを書いたり話したり場を設定する。そしてペア学習やグループ学習などのを通してお互いの考えを伝え合う経験を積み重ねていく。 ・「早寝」「早起き」「朝ごはん」などの生活リズムを整えることができるような取り組みを家庭と連携を図りながら進める。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・文章や図表等の資料の中から、自分にとって必要な情報を取り出し、整理して活用したり自分の考えをまとめたりする学習活動を充実させる。また、国語の授業において自分の考えを伝え合ったり、書いたりして表現するなど、言語活動の一層の充実を図る。
・児童が計画的に学習に取り組めるように家庭学習(自学など)を工夫する。

【受検者数】 23 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。